

自分への誓いを込めて 自身へ贈るギフト

クリスマスに1点素晴らしいものを買う
それは、自分に対する誓いになる
「来年はもっといい男になってやろう」

Brand-New Gift Mens

Dior Homme

ディオール オムらしいスマートなシルエットのヒールブーツ。ヒールの高さは6cmで、足長効果でスタイルがよく見えます。フロントに入ったカットと大きめのジップで、あくまで上品にさり気なく存在感をアピールする、大人のための1足です。ブーツ ¥92,400
[ディオール オム 2F TEL.052-588-6208]



Dior Homme

なめらかな上質のラムレザージャケットに洗いのかかったジーンズを合わせた、トガッチらしいスタイル。パテントのドレスシューズでキレイめに。レザージャケット ¥409,500、シャツ ¥54,600、ネクタイ ¥29,400、ハードウォッシュジーンズ ¥66,150、ベルト ¥40,950、シューズ ¥86,100
[ディオール オム 2F TEL.052-588-6208]

Information



メンズクラブ
1・2月合併号
12月10日発売の
最新号は創刊1600号記念
Special issueです。



Baccarat

パカラのルーツを紐解く「オーセンティック&ヴィンテージ タンブラー」は、数あるタンブラーの中から歴史と技術の粋を込めた12客をセレクト。フォルムやカット、エッチングの装飾など、それぞれの特長をお楽しみください。大切な方の好みにあわせて選べるので、ギフトにもオススメです。写真左からアピス ¥31,500、アルクール ¥29,400、マッセナ ¥25,200
[パカラ 1F TEL.052-533-8520]



VALENTINO

毎日使う物だから、主張しすぎないシンプルなデザインをチョイス。傷の目立ちにくい上質なカーフの型押しに、さりげなく施されたロゴが高級感を醸し出しています。カードもたっぷり入り、機能性にも優れています。長財布 ¥48,300、二つ折り財布 ¥37,800
[ヴァレンティノ 1F TEL.052-485-4760]



What's Brand New 「メンズクラブ」編集長 戸賀敬城さんが語る

ギフトを贈る喜び

クリスマスギフト選びに悩める世の男性に向けて、贈り物の達人“トガッチ”が
ギフトの選び方とラグジュアリーブランドのいまを語ります。



女性へのギフトが
選びやすい時代になった。

ここ数年、ラグジュアリーブランドは、クラシックなラグジュアリーから、モダン・ラグジュアリーへとシフトしています。ここでいうモダンとは、伝統の中に脈々と引き継がれるDNAをうまく進化させ、使う人のT.P.Oに合わせている、ということ。それは、実用のラグジュアリー。なんですね。本来、使い倒せるのがラグジュアリーの本懐だったはず。誰でも使える、似合う。それは、贈り物としても、選びやすくなっていると思うんです。ただ、個人的な考えですが、バッグを贈るのは、女性に下着を贈るのと同じくら

Louis Vuitton

イブニングジャケットにブラックシャツとシルクのストールを合わせた、スマートなドレスダウンスタイル。パーティーシーンではキメすぎず、少しカジュアルに外すのがカッコイイ。イブニングジャケット、タミエシャツ、イブニングパンツ共に参考商品、シューズ ¥117,600、ストール ¥31,500、リング ¥47,250
[ルイ・ヴィトン 1・2F TEL.03-3478-2100]

い難しい(笑) 相手の好みを知り尽くしていないと心から喜んでもらえない。裏を返せば、彼女に似合うバッグをプレゼントできたら、それはとてもいい効果を生み出すということ。また、クリスマスギフトといえば、ジュエリーが真っ先に思い浮かびますよね。ジュエリーは彼女の気持ちを驚かすことができる宇宙最強の贈り物でもあるんです。であれば、一つでもダイヤが多く、できるだけ大きなダイヤを買ってあげたい。それは、男に生まれた宿命だと思っんです。太古の昔からジュエリーは愛の証として存在しています。素晴らしいグレードのダイヤモンドは、ハイジュエリーに集中しているので、狙うべきはハイジュエリーのジュエリーと、僕は決めています。

男は、35過ぎたら、
自分に投資するのも悪くない。

クリスマスや誕生日など、何かのアニバーサリーに自分自身に何かを買う、贈るという行為は、素敵ですね。いつまでも記憶に残る買い物は、ものにエピソードが付き纏い、いつまでも大切にできると思う。自分と一緒にいる感覚。相棒のような。子供にはわからないかな(笑)。たまたま衝動買いしたものは格が違う。去年より今年のクリスマスはもっと上に！もっとラグジュアリーに！と、自分のこれからのおしゃれや生き方に対して、すごい指針になってくれると思うんです。

「MEN'S CLUB」編集長
戸賀敬城さん
Hirokuni Toga

1967年、東京生まれ。学生時代からBeing編集部でアルバイトをして、大学卒業後にエディターの道へ入る。1994年、Men's Ex(世界文化社)の創刊スタッフ。2002年Men's Ex編集長に。2005年時計Begin(世界文化社)編集長、及びメルセデスマガジン編集長兼任。2006年UOMO(集英社)エディトリアル・ディレクター就任。2007年4月、Men's Club編集長に就任(アシエツト婦人画報社)。自らを“トガッチ”と称し広告塔となり、メンクラを世の中に広くPRする新世代の編集長。「トガブロ」～南青山で働くメンズクラブ編集長・戸賀敬城のお茶目な社交&お買い物日記。絶賛記信中。
<http://blogs.mensclub.jp/togablog/>